



ロベルト酒井の  
**南十字の空から**

平成 25 年度 ブラジル通信  
No. 5 9月19日～9月22日  
発行者 豊橋市教育委員会  
酒井 憲一

**州立専門学校訪問**

訪問した専門学校は、5つのコースを持つ学校で、概要は以下のとおりです。畑を耕している生徒は「環境」コースです。生徒は、中学校を卒業した生徒（高校生）と他の高校を卒業した生徒に分かれます。また、高度な技能を持つ男性教員の数が多いです。



畑を耕している生徒

コース	全校生徒 2,120 人 入試内容：親の所得・作文・数学		
①電気 ②機械	高校1・2年生	高校3・4年生	高卒入学者
③化学 ④建設	午前：企業で研修	午前：授業	午前中の授業のみ
⑤環境	午後：授業	午後：企業で研修	(企業研修は学期末)

専門学校であっても2部制のため、高校生に対して授業がない午前か午後、企業研修を課しています。授業で学習したことを「企業」という実践の場で生かし、即戦力の人材を育成しています。

ちなみに、社会人のための夜間コースがあり、20:50～23:00という日本では考えられない時間です。

**1部制（全日制）州立学校（小6～中3）訪問：Rio Negro市**

ブラジルが教育改革で目指す姿の一つ「1部制（全日制）」を行っている学校を訪問しました。この学校は、クリチバ市から車で2時間、パラナ州の南端リオネグロ市にあります。

学校では「日本から（豊橋でなく…）教育界の来賓(!?)が来られる！」ということで大歓迎を受けました。さらに到着早々、私のために小学校6年生が歓迎の芸術発表会をしてくれました。この日のために、子どもたちで内容を考え毎日練習したそうです。私は恐縮や感激が入り混じる複雑な気持ちになりましたが、子どもたちの純粋な演技に心から喝さいを送りました。

創作ダンス



合唱と踊り



創作劇



お礼と励ましの言葉



**1部制（全日制）といえば「給食」！**

歓迎会の後、給食の時間になり、子どもたちといっしょに給食を食べました。ランチルームがあり、子どもたちは受け取り窓口で給食をもらい、自由に食べていました。片付けも、指定された場所に残飯や食器をしっかりと片付けていました。



給食をもらう窓口



子どもたちと給食

ちなみに、ブラジルでは給食費は無料で、どの学校も校内で作っています。

**今まで午前か午後だけだった（2部制）時間割は、1部制でどうなる？**

訪問校の時間割は右の表のとおりです。日本と比較するとわかりますが、「授業と授業の間に休憩時間がない」「1日9時間」「朝が早い」ということです。また、授業が終わるたびに子どもたちは次の授業の教室へ移動します。そこで、学習する内容は2部制の子どもたちと同じなので、時間が余りすぎるのではないかと授業内容はどうするのか？と尋ねたところ、「復習の時間にあてている。」ということです。早急にブラジルの全学校が1部制になり、新たなカリキュラムの作成が必要と感じました。少しでも日本のカリキュラムを提供したいです。

7:30~8:20	1限	授業
8:20~9:10	2限	授業
9:10~10:00	3限	授業
10:00~10:50	4限	授業
10:50~11:40	5限	授業
11:40~13:00	給食	休憩
13:00~13:40	6限	授業
13:40~14:20	7限	授業
14:20~15:00	8限	授業
15:00~15:40	9限	授業

8:20~8:45	朝の活動	
8:45~9:30	1限	授業
9:40~10:25	2限	授業
10:45~11:30	3限	授業
11:40~12:25	4限	授業
12:25~13:50	給食・掃除・休憩	
13:50~14:35	5限	授業
14:45~15:30	6限	授業
15:30~15:45	帰りの会	

次に朝が早かったり、休憩時間がなかったりすることについて、もっと時間に余裕を持ったかどうか？と尋ね、日本の時間割も説明しました。すると、「現在1部制なのは小6だけで、順次1部制を増やしていく。今年は他学年が2部制なので、時間割を他学年に合わせている。」とのこと。続けて、「全学年が1部制になったら、日本のような余裕のある時間割になるか。」と尋ねると、「できる。」と答えられました。また、授業と授業の間に休憩をはさむことは「けじめ」をつける意味で有効だと思うと言われました。すべて日本のようにしてほしいと思いませんが、少しでも改革されたいと願いました。

**ロベルト酒井の「休日はどうスルー？」**

ブラジルに来て2回の週末がありましたが、特別何かをしたわけではなく、買い物や朝市のような「ヒッピー市」に出かけました。9月21日（土）は日系人会が主催する年2回の大きなイベントの一つ「Haru Matsuri」に出かけました。食べ物や日本の品物売るブース、和太鼓演奏やカラオケを行うステージがあり、大変賑やかでした。ブラジル人には人気のイベントで、長い歴史を感じました。



**ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」**

前号の答えは①です。当然、公金が含まれているので0.01レアルたりとも無駄にできません。それとともに、買い物で苦労することがポルトガル語の習得につながります。②も考えられますが、ブラジルでは募金より物品寄付の方が主流だそうです。③は論外です。

では、第5問。通信の中にあつた「Haru Matsuri」の会場へ、私は何に乗って移動したでしょう？

- ① 3連結バス                      ② タクシー                      ③ パトカー      答えは次号で！

